



# 椿井木工舎

ZWEI WOOD WORK

(木工)

手仕事 × プロダクト  
独自の思いが可能にする。  
長年思い続けた  
木工への道。

たくさんの山と緑に囲まれた長野県木曾。そんな自然豊かな場所に椿井木工舎の工房はある。元々は大工さんの工場だった場所を借りて二年前にスタートした。



日々の生活も大切に。  
奥さんの手作り漬物で  
体を整える!

卒業後、自動車メーカーに就職。自動車開発には欠かせないクレイモデラーとしてデザインモデルの製作をしていた。やりがいもあり、色々な用途を考え作り出すと言う工程はとても楽しかった。しかし、仕事をやりながらも、いつか木工をやってみたいと言う気持ちが常にあった。そしてその思いは、仕事で扱っていたケミカルな素材に対して感じる違和感で、より強くなっていった。  
「土に帰る自然素材の木で物作りをしたい」

会社を辞め、十年余り思い続けてきた木工の世界へ進むことを決めた。元々山登りが好きだった事もあり自然の多い長野県にある上松技術専門校で一年間木工の基礎を学んだ。そして卒業後、椿井木工舎を開業。



群抜心地使いの  
バターナイフ!  
一む染馴に手

作るものは、自分が好きな物が前提。初めに作ったのはコーヒーメジャーだった。自分で実感し、使う人の事を考え、最後は手作業で丁寧に仕上げる。そして、常に少しでも良いものへと改良を重ねる。  
「手仕事ではあるけれど、あえて手仕事感を残さない様に、なるべく一定品質、ムラがない様なものを安定的に生産したい。」  
完成度の高いものが僅か二年で実現出来ているのも、この思いがぶれる事なく強くあるからだろう。

会社をやめた時、一年間夫婦で世界中を回った。務めていた時も一週間休みがあればバックパッカーで旅に行き、好きな山登りもした。今の仕事とは直接関係はないだろうが、先のプランをしっかりと考え、今何に時間を使うか…という楽しみながらも計画性のある性格が、椿井木工舎の基礎にあるのだともう。それはひとつのプロダクトに大して、いくつも作られるオリジナルの治具(じぐ。物作りに必要な道具)作りを大切にしているところにも現れている。



何十年も前の  
機械を使い、  
細かい部分は  
手作業で。

「自分たちのものは出来る限り作って、そんな生活をしたい。」  
自然に囲まれ、木と向き合う日々。  
余計なものは削ぎ落とし、限りなくシンプルに。まさに今の生活から椿井木工舎のプロダクトは生まれている。

